

第2回 青少年指導員の仲間を増やすための取組み

各市町村の青少年指導員の募集においては、それぞれ地域の実情に合ったものとするため、各市区町村が異なる募集方法を採用しています。ここではその幾つかをご紹介します。

○横浜市

横浜市では、市の依頼により自治会町内会等から青少年指導員の推薦をいただいています。その際、自治会町内会等において推薦者の選定やその方へのご説明などの機会にご活用いただけるよう、「青少年指導員の活動紹介チラシ」を作成し、配布しています。

また、各種イベントの機会に広く市民の方に配布するなど、今後の担い手の候補となっていたりPRを行っています。



市作成チラシ



神奈川区協議会作成チラシ

○茅ヶ崎市

- ・推薦は市内19小学校に設置されている青少年育成推進協議会の会長が教育長に推薦をします。
- ・青少年育成推進協議会のメンバーで検討して候補者を挙げるところや会長の人脈によるところ、自治会長の推薦によるところ、前任者が後任を推薦するところなどがあります。
- ・今期目新しかったのが、自治会回覧によって応募し推薦された指導員がいたことです。

○秦野市

- ・秦野市は8地区に分かれ、各地区の単位自治会の自治会長より推薦していただいています。各地区の青少年人口や、地域の特性等を考慮し、できる限り全市内に平均して配置できるよう、推薦数を指定しています。
- ・改選の年になると、各自治会長及び連合自治会長宛に通知を送り、定数内に収まるように調整の上、各地区の連合自治会長より取りまとめて、報告していただいています。
- ・年に一度広報誌を作成し、自治会に送付することで活動内容の周知を図っています。

○海老名市

- ・各自治会を通じて募集し、推薦を受けた方に市教育委員会から委嘱をしています。自治会への依頼時に、推薦書と併せて青少年指導員の意義や活動内容についての資料をお送りしています。
- ・年に1回、市内全戸に配布する「広報誌おあしす」にて、活動やイベントなどを周知している他、市立小中学校の児童・生徒に配布する「おあしすかわらばん」にて、青少年向けにも活動を周知しています。また、青少年指導員連絡協議会のホームページやSNSも運営し、広報活動を通じて担い手の確保を目指しています。

○大井町

- ・町内の自治会を通じて、その地域にお住まいの方の中から推薦していただき、町教育委員会において委嘱しています。
- ・青少年指導員協議会において、年1回、青少年指導員の活動を紹介する広報誌「清流」を作成し、町内全戸へ配布することで、指導員の確保に努めています。